



年長組のお面は、オレンジ・水色・赤の画用紙の中から1枚を選び、先生が教えてくれたように画用紙を折って、鬼のお面の形を作りました。鬼の角が1本か2本かで折り方が変わります。子ども達は自分で角の本数を選び、上手に折ってお面を作りました。お面にはクレヨン、目や鼻・眉毛などを描いて鬼の顔にしました。豆入れは、「恵方巻き」をイメージして作りました。黒の画用紙に白の花紙をちぎって糊で貼り付けます(ごはんに見立てています)。その後、赤や緑、黄色の花紙をちぎって具材に見立てて貼り付けました。それを「豆入れ」になるように丸めて両面テープで貼り付けました。年長さんらしく先生の手をあまり借りず、自分たちで頑張ってお面を作りました。さすが、年長さんですね。



「豆まき」の始まりです。どこから鬼が来るのか、豆を手に構えている子ども達。すると、突然「鬼の会話」が聞こえてきました。声の方を見ても2階に鬼が現れ、園庭に向かって下りてきます。これには子ども達もビックリ！鬼が子ども達めがけて走り寄ってきました。鬼の「ウソをつく子はいないか！」という怖い声にビビりまくる子ども達。怖さのあまり先生に抱きつく子も。しかし、先生方の「鬼は外」のかけ声で逆襲の始まりです。持っている豆を鬼めがけて投げつけます。これには鬼も思わず、「痛い！」の声。鬼も少しずつ弱っているようです。最後は多勢に無勢、子ども達の勝利でした。

